

## 仕様書

本仕様書は、山武郡市広域行政組合（以下「発注者」という。）が委託する施設槽内清掃運搬業務の仕様を定めるものであり、受注者は、本仕様書に基づき、誠実に業務を遂行するものとする。

### 1 清掃対象槽の名称

し尿受入槽、浄化槽汚泥受入槽、高濃度浄化槽汚泥受入槽、中継槽、し尿貯留槽、し尿予備貯留槽、浄化槽汚泥貯留槽、浄化槽汚泥予備貯留槽、沈砂槽 5 槽（計 13 槽）

### 2 実施期間

- (1) 履行期間内において発注者と受注者とで協議の上定めることとし、原則 7 日以内とする。
- (2) 受注者の責に帰すべき事由により、実施期間内に作業を完結することができないときは、その事由を明示して実施期間の延長を求めなければならない。この場合、その延長日数は、発注者と受注者とで協議して定める。

### 3 業務の内容

- (1) 受注者は、対象となる槽の内部に沈殿したし尿、浄化槽汚泥、砂、スラム等（以下「汚泥」という。）を吸引除去すること。
- (2) 吸引した汚泥は、新和企業有限会社の中間処理施設（所在地：茨城県北茨城市磯原町大塚字松ノ木田 1399 番 17 外 1 筆）に搬入すること。
- (3) 壁、天井及び床の防食ライニング面については、点検ができるように付着物を 5 M p a 程度の高圧にて除去洗浄する。この際、防食ライニング面を痛めないよう圧力には十分注意すること。また、槽内部の配管、サポート等についても同様とし、槽内部の高所部分に設置してある配管、サポート等においては裏面の付着物も綺麗に除去洗浄することとし、点検に支障を来すことのないよう十分配慮して作業すること。
- (4) 清掃作業中、緊急性が求められる補修箇所が見受けられた場合は、速や

かに発注者に報告し、作業計画について協議するものとする。

- (5) 槽内の上澄み液は、発注者と相談の上、必要に応じて槽間の移送を行い、全体の槽の清掃に係る汚泥の搬出量を原則 2 3 0 m<sup>3</sup>以下にするよう調整して行うものとし、槽内の汚泥及び洗浄水においては、残余がないよう作業するものとする。なお、汚泥の搬出量が 2 3 0 m<sup>3</sup>を超える場合は、発注者と受注者で協議して作業方針を決定するものとする。
- (6) し尿受入槽、浄化槽汚泥受入槽、高濃度浄化槽汚泥受入槽、中継槽及び沈砂槽 5 槽については、し尿及び浄化槽汚泥の搬入がない日（土、日及び祝日）を選択して実施するものとする。なお、し尿及び浄化槽汚泥の搬入がある日に実施する場合は、発注者と受注者で事前に協議するものとする。
- (7) し尿及び浄化槽汚泥の投入作業に支障が出ないように作業するものとする。
- (8) 汚泥の搬出については搬出予定表を作成し、処分業者と連絡を密にとって行うものとし、当該予定表に変更がある場合は発注者と協議するものとする。

#### 4 業務の履行

受注者は、当該業務を実施するに当たり、本仕様書に基づき、能率的、経済的、かつ安全に業務を履行しなければならない。

#### 5 法令の遵守

受注者は、委託業務の履行に当たって、関係法令を遵守しなければならない。

#### 6 安全の確保

受注者は、労働安全衛生法（昭和 4 7 年法律第 5 7 号）、労働安全衛生法施行令（昭和 4 7 年政令第 3 1 8 号）、労働安全衛生規則（昭和 4 7 年省令第 3 2 号）、その他災害防止関係法令に定めるところにより、常に安全管理に必要な措置を講じ、労働災害発生の防止に努めること。

- (1) 受注者は、事故防止を図るため安全対策を明確にしなければならない。

- (2) 受注者は、業務履行に当たり、毒性ガス、酸素欠乏、可燃性ガス等に対し必要な安全対策を行うとともに、適切な作業方法の選択及び作業員の配置割当を行い、危険防止に努めなければならない。
- (3) 受注者は、業務履行に当たり安全管理上の障害が発生した場合は、直ちに必要な措置を講じるとともに速やかに発注者に連絡し、その指示に従わなければならない。

## 7 発生物件

作業により発生した有価物件の取扱いは、発注者の指示に従わなければならない。

## 8 作業終了後の措置

作業終了後は、不用品等を適切に片付け清掃しなければならない。

## 9 損害補償

作業履行中に受注者の責任による損害が生じた場合は、受注者はこの補償をしなければならない。

## 10 負担

- (1) 作業に要する電力、水については、発注者の負担とする。
- (2) 作業に必要な機材等については、受注者の負担とする。
- (3) 受注者の責に帰すべき事由による実施期間の延長に係る経費については、作業に要する電力、水の経費を除き全て受注者の負担とする。

## 11 提出書類

提出書類は次のとおりとする。

- (1) 着手前の提出書類（各 1 部）
  - ア 着手届
  - イ 主任技術者選任通知書
  - ウ 現場代理人選任通知書

エ 作業工程表

(2) 完了時の提出書類（各 1 部）

ア 業務完了届兼検査願書

イ 報告書（記録写真等）

ウ 作業環境測定記録票（危険・有害ガス測定記録等）

エ マニフェスト管理票

12 その他

この仕様書に定めのない事項については、発注者と受注者とで協議の上定める。

○清掃対象槽の名称及び容積一覧

施設槽名	面積 ( $\text{m}^2$ )	有効高さ ( $\text{m}$ )	有効容積 ( $\text{m}^3$ )
し尿受入槽	—	3.3	64.3
浄化槽汚泥受入槽	—	3.3	97.9
高濃度浄化槽汚泥受入槽	—	3.3	41.0
中継槽	15.5	3.5	54.1
し尿貯留槽	47.1	3.5	164.8
し尿予備貯留槽	102.1	3.5	357.4
浄化槽汚泥貯留槽	148.4	3.5	519.3
浄化槽汚泥予備貯留槽	204.4	3.5	715.2
沈砂槽（5槽）	—	—	2.0×5槽